

大きな地震は、日本のどこかを襲うと多くの人々は気にはしていますし考えていましたが、津波の恐ろしさを指摘する声は人々に厳しく伝わっていました。非常に辛いことですが、2011年3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震により、青森県、岩手県から宮城県の三陸海岸、福島県、茨城県、千葉県に至るまで多くのまちや村が大津波の大災害を受け、復旧・復興に向けて大きな努力が続けられています。重ねて原子力発電所の事故が起き、放射能の除染作業、放射能汚染水の処理、燃料の取り出しなど、廃炉に向けた難しい作業が続けられています。

人々が安心して暮らすことのできる安全で豊かな社会の構築を目指して、研究・技術開発を進めている理学・工学に関わる8学会は、東日本大震災の甚大な災害を深刻に捉え、東日本大災害の状況、原因について詳細に調査し、今後の対策などを真剣に検討し、合同報告をまとめきました。

8年間の多くの研究者・実務者の献身的な努力により、ここに全28編を出版することができました。裏面に各編を紹介していますが、各編は読みやすい小冊子とDVDの組み合わせで構成されています。

地球の歴史、地球の営みに比べ人類の歴史は非常に短く営みも小さい。我々にとって重要なことは、それぞれの時代に起きたことを文字や写真、データを用いて書物に残し、後世の人々に伝えることです。この東日本大震災合同調査報告が多くの方々に読まれ、参考にしていただき、次に大地震や大津波に襲われる国内外の地域の人々に警告を与え、防災・減災のより良い対策に努めていただきたいと思います。

東日本大震災合同調査報告

東日本大震災合同調査報告書編集委員会編

全28編（冊子+DVD）

主な特徴

- 理学・工学に関わる8学会が合同で広い視野で纏めた合同調査報告です。
- 大地震・大津波の実像とその被害をくまなく記録し、震災の教訓と将来に向けた提言をまとめています。
- 専門家だけでなく、多くの方々に読んでいただきたい東日本大震災合同報告です。
- 地域、自治体、企業、教育機関、福祉・医療機関などの防災・減災に活用していただきたい詳細な資料です。
- 28編はそれぞれ小冊子とDVDで構成されています。

地盤工学会

土木学会

日本機械学会

日本建築学会

日本原子力学会

日本地震学会

日本地震工学会

日本都市計画学会

（五十音順）